

「豊後高田昭和の町」を訪れたら是非立ち寄ってほしい観光案内

豊後高田市には「昭和の町」の他にも、自然豊かな景色、歴史ある文化や建物など、見どころのスポットがたくさんあります。ご紹介する5つのスポットは特にオススメ！是非お時間をつくって旅の思い出を増やしてください。



1 昭和の町

市内の中心商店街は、江戸時代から明治、大正、昭和30年代にかけて、国東半島で一番栄えた町でしたが、だんだんと時代の波に取り残され、寂しい町になっていました。そこで、商店街が元気だった戦後の時代、あの昭和30年代の元気、活気を蘇らせようと平成13年に立ち上げたのが「昭和の町」です。懐かしい商店街は、全国的にも脚光を浴びて、年間35万人もの来訪者を迎える観光地になっています。



ドライブに最適な超小型モビリティ「ハートの魔法」が描かれた路線バス



「フランスス・スィーヒ」さんが描いた壁画



南京錠を掛けて愛を誓う愛鍵モニュメント「緑」



フォトジェニックな「恋叶トンネル」の壁画「北村直登」さんが手掛けたバス停看板

2 恋叶ロード



昭和の町から長崎鼻を結び、魅力的なスポットが点在する恋が叶う道「恋叶ロード」。



3 粟嶋社

海に突き出た岩窟に社が設けられている全国的にも珍しい神社です。縁結びの神様として、特に女性の願いなら、そのひとつは必ず叶えてくれるといわれています。



4 長崎鼻

春は約2,000万本の菜の花、夏は約140万本のひまわりが咲き誇ります。オノ・ヨーコ氏やチェ・ジョンファ氏などの作品も点在する花とアートの岬です。



5 富貴寺

平安時代に宇佐神宮大宮司の祈願所として開かれた由緒ある寺院です。中でも大堂は、宇治平等院鳳凰堂、平泉中尊寺金色堂と並ぶ日本三阿彌陀堂のひとつに数えられ、現存する九州最古の木造建築物として、国宝に指定されています。

豊後高田市 with チームラボ



デジタル社会の様々な分野のスペシャリストから構成されているウルトラテクノロジスト集団。アート、サイエンス、テクノロジー、クリエイティビティの境界を越えて、集団的創造をコンセプトに活動している。
<http://teamlab.art/jp/>



お絵かき草地おどり teamLab,2017

1 チームラボギャラリー昭和の町

この草原は、みんなの描いたピープルが集まる広場です。紙に自由にピープル(男性や女性など)の絵を描きます。すると、描いた絵に命が吹き込まれ、「夕焼けの真玉海岸」をバックに、目の前の巨大な草原で歩き出します。



花と人、コントロールできないけれども、共に生きる teamLab,2014

2 チームラボギャラリー真玉海岸

国東半島に生息している花々をモチーフにしており、一時間を通して、国東半島の一年間の花々が移り変わっていく。花は生まれ、成長し、つぼみをつけ、花を咲かせ、やがて散り、枯れて、死んでいく。



四季千年神田図 - 田染荘 teamLab,2016

3 市役所エントランス

千年以上変わらず続く田染荘の景色を、自然と共生していく人々の営みとともに、悠久に続く景色として描いている。1年を通して、作品世界の景色と人々の営みは、日々段々と変わっていく。

全世界900万人が泣いた、東野史上最高の感動作!

映画
原作

ナミヤ雑貨店の奇蹟

東野圭吾
 角川文庫より発売中!!

